

〔B類書道コース 対象〕

書道実技・書道理論 解答例

令和6年度

一般選抜前期

私費外国人

帰国生

I

問1

〈解答のポイント〉

- ・ 図版の作品が、〈寸松庵色紙〉であることを踏まえた上で、①〈寸松庵色紙〉が平安時代を代表する古筆のひとつであること、〈継色紙〉〈升色紙〉と合わせ三色紙と称されること、②古今和歌集を書写したものであること、③書の表現上の特徴として連綿や散らし書きの多様性があげられること、このほか、〈寸松庵色紙〉の伝来や装丁、料紙などについて述べられていること。加えて、論述が、論理的・整合的かつ明快であること。

問2

(1)

〈解答のポイント〉

- ・ 二王が、父である王羲之とその息子である王献之を指すことが的確に述べられていること。また、王羲之、王献之の代表作について具体的に言及していること。

(2)

〈解答のポイント〉

- ・ 「点画の連続」「点画の形の変化」「点画の省略」「筆順の変化」などの行書の特徴を具体的に示しながら説明できていること。

(3)

〈解答のポイント〉

- ・ 篆刻作品を制作する際に、印面に布字する文字の原稿を紙に筆で墨書すること、一般に墨で黒く塗った用紙に朱墨を用いて作成することなどについて述べられていること。